

基盤環境 委員会

高山地方合同庁舎建設 用地について

5月23日(協議事項)

【概要】

国が高山駅近くで計画している合同庁舎の敷地について、国から市内にある国有地との交換を提示され、市としても交換の方向で協議を進めていく。

【論点】

- 用地交換の妥当性
- 交換の条件
- 交換用地の活用方針

【協議の結果】

当初の予定では用地を国に売却することで事業の財源を確保することとしていたが、国の意向もあり、タイム

ングを逃さず早期に事業を進めることの方が得策であると判断し、交換を了承した。

また、有利な交換となるよう交渉するとともに、用地の活用について早急に検討するよう求めた。

ごみ処理施設建設に向けた地元説明会の開催状況について

5月23日(報告事項)

【概要】

2月から3月にかけて地元4町内会で説明会を開催。これまでの説明事項に加え、次の2点を説明

- 次期建設候補地は現施設周辺地域以外の場所から選定する。
- 現埋立処分地の跡地利用や余熱利用も含め地元住民と検討を行う。

【論点】

- 市の責任や現施設の今後のグラウンドデザインについて求めた
- 当委員会の意見書(1月29日に提出)への対応
- 地元説明会の状況

今後のスケジュールや方針

【委員会での意見】

- 地域住民からの意見や要望に対して丁寧な説明が必要では。
- 市全体の問題として今後のまちづくりにおける十分な配慮が必要では。



リサイクルセンター (三福寺)

今年度の調査研究

◆空き家対策

様々な要因で増え続ける空き家問題について、国も特別措置法を制定して対応を急ぐこととしているが、高山市における課題を精査し、住民との連携の中で、生活環境の保全を図るとともに、空き家の活用促進を図る具体的方策について調査

を進める予定である。

行政として空き家の適正管理条例を制定するなどのほか、空き家相談員を配置したりソーシャルネットワークキングサービスを活用するなど民間と連携した取り組み、さらには移住・交流にまでつなぐ取り組み等、空き家をうまく活かしたまちづくりの取り組み等先進的な事例を研究する。

また、住民の安心安全を確保するという視点から、危険な老朽空き家を行政によって除却している事例も増えており、その可能性についても調査を行う。

現在、市が進めている空き家の実態調査をふまえ、歴史と伝統に裏付けられた歴史的景観保全も意識した空き家対策の「高山モデル」について探りたい。



◆下水道事業の公営企業会計移行

市は、国からの要請もあり特別会計で運営している下水道事業を公営企業会計に移行するとしている。

地方財政法上では独立採算が求められており、経営健全化や収支の状況を明らかにするためにも企業会計に移行するのが望ましいことは理解しつつも、日本一広大な市域の中で公共下水道に加え、点在する農業集落排水事業をすべて法適用して運営していくのか、使用料金という形で市民に負担を押し付けることにならないか危惧している。

そのため、移行までの行程や調整、経営基盤強化など移行後の効果など多角的な視点から、広範な市域における健全な下水道事業運営の取り組みについて先進地調査をふまえ調査研究したい。

高山駅舎・自由通路の工事現場を視察

6月20日

高山駅舎・自由通路の建設工事が、今秋の完成に向けて着々と進んでいる。

担当する基盤環境委員会としては、昨年11月に続き2回目の現地視察を行った。

自由通路については、市産のヒノキをふんだんに使用した天井・側壁など内装工事の様子、エレベーターやエスカレーター等のバリアフリー対策、広い窓から一望できる山並み景観など、高山の玄関口として供用開始に期待が膨らむ。



視察の様子